

3.分担研究報告 課題1

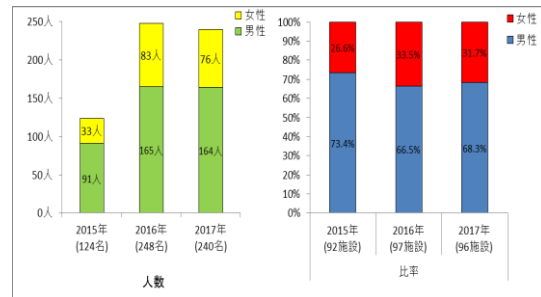
医療従事者のための足病治療・ケア 小冊子（補考）により足病知識の普及・浸透の評価
研究と併せて下肢末梢動脈疾患指導管理加算の2年目の普及度（北海道と九州）調査

北海道 88 施設と九州の 75 施設にアンケート調査(配布資料参照)を行い次の様なデータを得た。

- ・医療法人社団廣仁会 褥瘡・創傷治癒研究所 所長 大浦 武彦（責）
- ・旭川医科大学外科講座・血管外科 東 信良
- ・東邦大学医療センター大橋病院 循環科内科 中村 正人
- ・下落合クリニック 腎臓内科・透析内科 菊地 勘
- ・福岡大学 医学部寄付研究連携形成外科学 創傷再生学講座 秋田 定伯
- ・武蔵野赤十字病院 腎臓内科 安藤 亮一

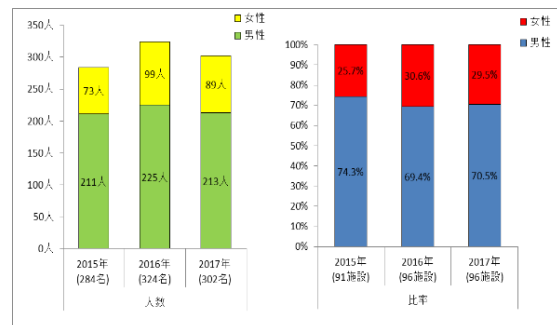
【北海道】

①2015 年厚労省指定研究 大浦研究班（以下、大浦研究班）が誕生し、下肢末梢動脈疾患指導管理加算が付いたことと、足病の重要性が強調された影響で、2016 年 2017 年に紹介した人数は急速に伸びている。



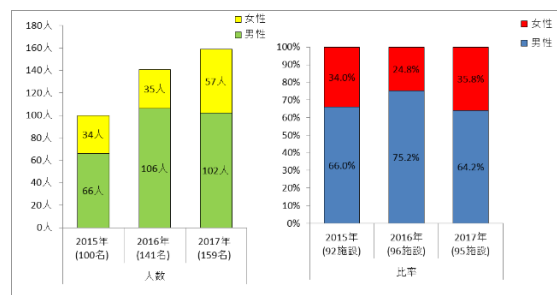
血行再建病院あるいは足病専門病院に紹介した人数

②大浦研究班が誕生し、下肢末梢動脈疾患指導管理加算が付いたことと、足病の重要性が強調された影響で、2016 年 2017 年に血行再建手術を受けた人数は、急速に伸びている。



血行再建手術を受けた人数(北海道)

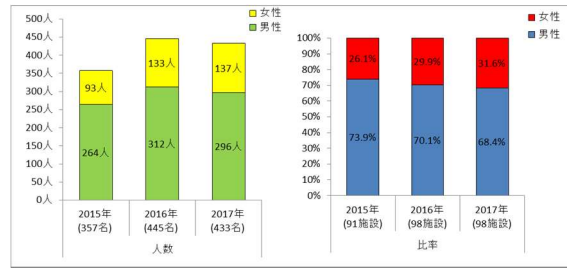
③大浦研究班が潰瘍の治療の重要性を強調し、歩く・立つを“final goal”とすると働きかけたことが、潰瘍の治療を受けた人数が増加した原因である。形成外科医が頑張っている影響が大きい。



足潰瘍治療を受けた人数(北海道)

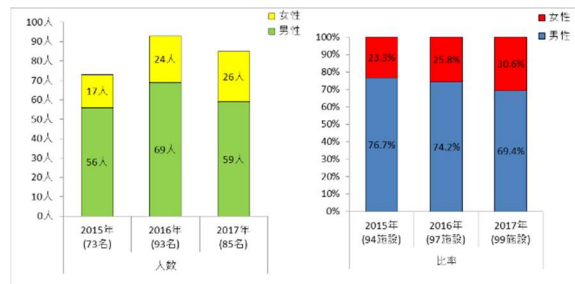
アンケート I

④血管内治療・バイパス手術・創傷治療を受けた人数が 2016 年に増加したのは、2015 年大浦研究班が活動したことが大きい。



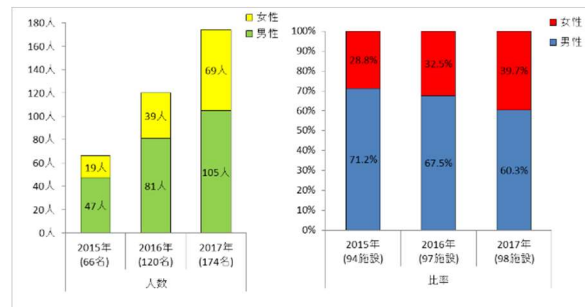
血管内治療・バイパス手術・創傷治療を受けた人数(北海道)

⑤大浦研究班が出来、下肢温存の重要性が強調されたが、この効果が現れるのは、3~4年先と思われる。



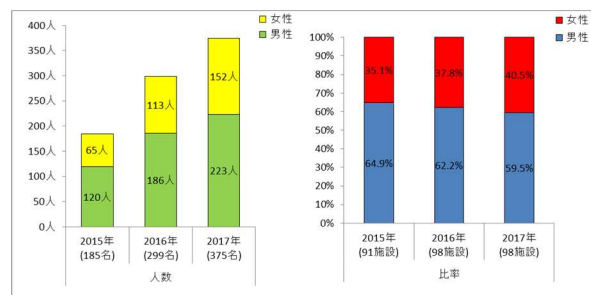
下肢切断をされた人数(北海道)

⑥下肢温存の重要性が強調され、下肢の機能検査が活性化してきて、SPP40mg 以下の下肢が増加してきている。実際に増加もしていると思われるがしかし、測定件数が多くなった影響も考えられる。



SPP40mg 以下(北海道)

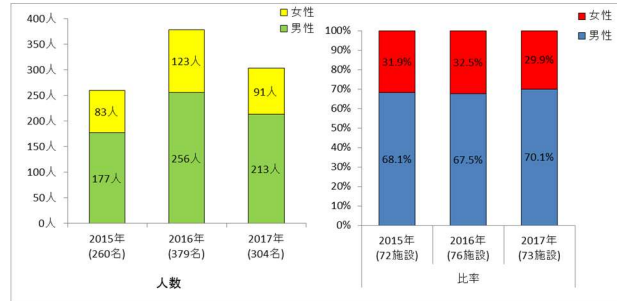
⑦ABI 0.7 以下が増加したように見えるが、今迄測定もされていなかったものが測定されるようになったので、多くなったように見える。



ABI 0.7 以下(北海道)

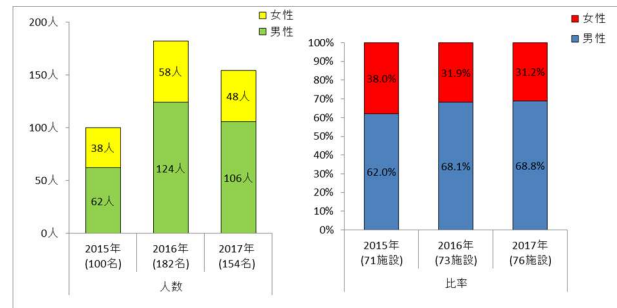
【九州】

①2015年厚労省指定研究 大浦研究班
（以下、大浦研究班）が誕生し、
下肢末梢動脈疾患指導管理加算が
付いたことと、足病の重要性が
強調された影響で、2016年に急速に伸
びている、2017年にやや少し減少して
いる。



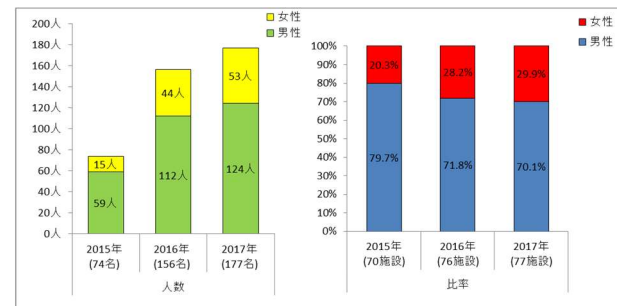
血行再建病院あるいは足病専門病院に紹介した人数(九州)

②2015年に大浦研究班が誕生し、
下肢末梢動脈疾患指導管理加算が
付いたことと、足病の重要性が
強調された影響で、2016年2017年に急
速に伸びている。



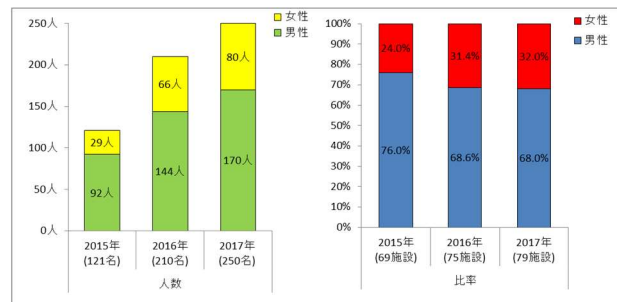
血行再建手術を受けた人数(九州)

③大浦研究班が潰瘍の治療をの重要性
を強調し、歩く・立つを“final goal”と
した。これにより潰瘍の治療が増加した
原因である。形成外科医が頑張っている
影響が大きい。



足潰瘍治療を受けた人数(九州)

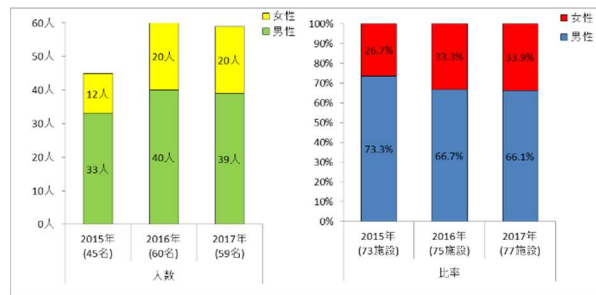
④血管内治療・バイパス手術・創傷治療
を受けた人数が2016年2017年に増加
したのは、2015年大浦研究班が活動し
たことと学会で足病の治連携の啓蒙活
動したことが大きい。



血管内治療・バイパス手術・創傷治療を受けた人数(九州)

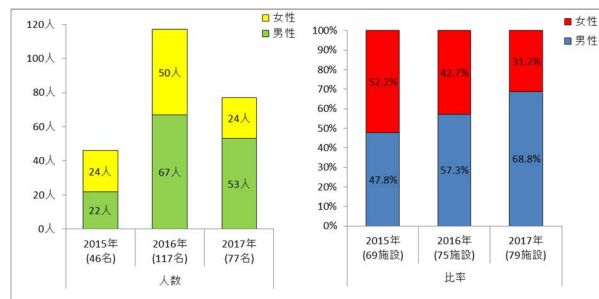
アンケート I

⑤大浦研究班が出来、下肢温存の重要性が強調されたが、この効果が現れるのは、4～5年先と思われる。現在はまだ減少していない。



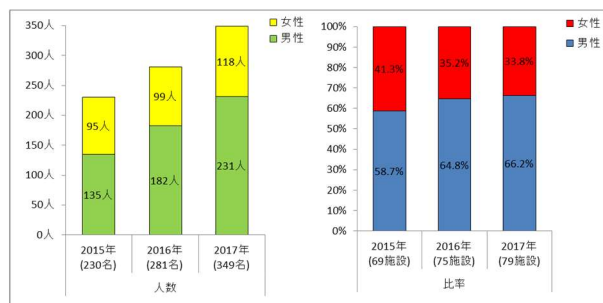
下肢切断をされた人数(九州)

⑥下肢温存の重要性が強調され、下肢の機能検査が活性化してきて、SPP40mg以下の下肢が増加してきている。しかし実際に増加もしているが、測定件数が多くなった影響も考えられる。



SPP 40mg 以下(九州)

⑦ABI 0.7以下が今迄測定もされていなかったものが増加したように見えるが、測定される人数が大きくなり ABI 0.7以下の患者が多くなったように見える。



ABI 0.7 以下(九州)

北海道と九州のアンケート調査について

- ・伊丹腎クリニック 伊丹 儀友
- ・仁榆会病院 前野 七門
- ・福岡赤十字病院腎臓内科 伊豆丸 堅祐
- ・医療法人こもたクリニック 菰田 哲夫
- ・北海道医療大学 看護福祉学部 志渡 晃一
- ・北海道医療大学 看護福祉学部 米田 政葉

1. アンケートの詳細

	アンケートを出した 透析施設数	回答を下さった 施設数	回答率 (%)
北海道	166	86	51.8
九州	150	75	50

血行再建病院あるいは足病専門病院に紹介した人数は、北海道で2015年大浦研究班が発足した2015年に比べて2016年、2017年と増加し、九州においても同じように増加しており、大浦研究班の成果が出ている。

足潰瘍治療を受けた人数も北海道、九州、共に急速に伸びているが、下肢切断数は微増であった。

また、臨床的には北海道、九州と共に血流測定の人が多くなっており、足潰瘍治療を受けた人数も多くなっている。これは、足病の早期発見、早期治療が確実に行われていることを示している。

下肢切断人数が減少していないのは、早期発見、早期治療が行われるようになったとはいえ、これで治癒する場合もあり、必ずしもすぐ下肢切断の減少に繋がることは限らないことを示している。

アンケート I

(期間：平成 27 (2015) 年 4 月～平成 30 (2018) 年 1 月末)

透析医各位殿

貴施設名： _____
電話： _____
メールアドレス： _____ @ _____
記録者名： _____

1) 貴施設の透析患者数：(約 _____ 人/年)

2) 足病患者として血行再建病院 or 足病専門病院に紹介した人数：

	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人

3) 貴施設で、
A) 血行再建手術を受けた人数 (EVT or バイパス)：

	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人

B) 足潰瘍治療を受けた人数：

	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人

4) 血管内治療 or バイパス手術 or 創傷治療を受けた患者数：

	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人

アンケート I

(期間：平成 27 (2015) 年 4 月～平成 30 (2018) 年 1 月末)

5) 貴施設患者で下肢切断をされた人数

	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人

6) 足血流不全患者の頻度

※血流測定値が分からない場合は、記入しなくても結構です。

a) 血流測定を貴クリニック（施設）で行っているか。

i 行っている

ii 他施設にお願いしている（施設名： _____)

b) SPP が 40 mg以下 or ABI が 0.7 以下の患者数：

	①SPP が 40 mg以下		②ABI が 0.7 以下	
	男	女	男	女
2015 年度 (2015 年 4 月～2016 年 3 月まで)	人	人	人	人
2016 年度 (2016 年 4 月～2017 年 3 月まで)	人	人	人	人
2017 年度 (2017 年 4 月～2018 年 1 月まで)	人	人	人	人

7) フットケアについて：

a) フットケアを ①行っている ②行っていない・・・(_____)

b) フットケアをやっている方の職種

①看護師 ②その他 ……(_____)

c) フットケアをやっている方の所属

①当クリニック or 当施設の職員 ②施設外の方・・・(_____)

8) 血行再建医（下肢救済推進医療機関）へ紹介した患者様の詳細（※Excel 別表）

9) 貴施設で、登録した連携病院はどこですか。

①病院名： _____
住所：(〒 _____)

②病院名： _____
住所：(〒 _____)

アンケートⅡ

貴施設名：（ ） 記入者名：（ ）

紹介患者さんの詳細：2017年度に血行再建術と足潰瘍治療を受けた患者の詳細と四肢切断された患者の詳細についてご記入下さい。（○をつけて下さい。）
※表が足りない時は追加して下さい。

症例	名前	性別	年齢	紹介した病院名	血行再建手術	手術を受けた日	【術前】		【術後】 血行再建術をした人の臨床状況					※	
							歩行状態	壊死・潰瘍	1 歩行		2 壊死・潰瘍 (術後1ヶ月以上経過)	3 下肢切断	4 理由		5 その他
									a 手術後 3か月未満	b 術後 3ヶ月以上経過					
1	(イニシヤ)	男・女			①無 ②有	平成 年 月	①歩ける ②歩けない a. 全く歩けない b. 跛行	①無 ②有 a. 足趾 b. 足背・足底 c. それ以外	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①無 ②有	①血流改善せず ②壊死・感染が悪化 部位 a. 足趾 b. 足背・足底 c. それ以外		
2	(イニシヤ)	男・女			①無 ②有	平成 年 月	①歩ける ②歩けない a. 全く歩けない b. 跛行	①無 ②有 a. 足趾 b. 足背・足底 c. それ以外	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①現状維持 ②改善した ③悪化した	①無 ②有	①血流改善せず ②壊死・感染が悪化 部位 a. 足趾 b. 足背・足底 c. それ以外		